

## 麻生区区民会議 第2回 (仮称) 市民活動・絆づくり検討部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成29年1月26日(木) 午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所第1会議室
- 3 出席者：[専門部会委員]  
池松勝年委員、植木昌昭委員、海崎眞委員、佐藤昇平委員、佐野幸子委員、鈴木隆広委員、  
関根秀勝委員、高橋慶子委員、松田通委員  
(欠席) 緒方保委員  
[事務局] 企画課 井上課長、福島係長、榎本 [コンサルタント] 中島
- 4 傍聴者：0名
- 5 議 事
  1. 調査・審議課題の検討について
    - (1) 第1回部会の振り返りについて
      - ・海崎眞委員が前回欠席であり、また、前回の議事確認のため、前回部会の内容を振り返った。
      - ・第1回で出された重要なキーワードに「健康寿命」が追加された。
    - (2) 第5期「市民活動・地域活動の活性化部会」提言の分析  
【第5期における議論の経緯と第5期提言の進捗状況について】
      - ・第5期では、ボランティアの担い手についてシニアをターゲットとするのが具体的ではないかという視点から「健康寿命」というキャッチフレーズを作り、誰もが気軽にボランティアに参加できる仕組みづくり等について議論した。その上で、ボランティア等を運営する団体と担い手を結びつける必要があるという議論の中、「(仮称) あさおボランティア情報センター」という発想が生まれたという経緯がある。
      - ・第5期の提言を受け、麻生市民交流館やまゆり、麻生市民館、麻生区社会福祉協議会の連携の一環として、「地域人材育成連絡会議」で話し合いが行われている。
      - ・第5期提言のうち、提言2については具体的な進行があり、データベースの構築が行われているところである。ただし、データベースの構築は「(仮称) あさおボランティア情報センター」そのものではなく、役割の一部分である。
- 【主な意見】
  - ・ボランティアセンターの具体化の前に、ボランティアの担い手や対象等についてといった土台部分を考える必要があるのではないか。
  - ・シニア世代に限定する必要はないのでは。若い人や弱者等も入るのではないか。
  - ・ボランティアというよりも、その上位概念である市民活動でくくった方が良いのではないか。サークル活動や自分が楽しむ活動も市民活動であれば取り込める。
  - ・ボランティア情報センターの活動内容を考えていくのが良いと思う。

- ・市民活動とボランティアのカテゴライズにはこだわらず、「生きがいつくり」や「仲間づくり」を切り口に何か進められないか。その結果が市民活動につながっていくと思う。
- ・市民活動から始まって仲間ができてボランティアにつながっていく。楽しむ方が楽しませる方に移行して生まれるボランティアが強いボランティアである。
- ・情報面はデータベース構築に任せて、第6期では提言1と4を進めてはどうか。キャッチフレーズや入門講座等の具体化を検討してはどうか。

### **(3) 審議テーマの検討について**

- ・審議テーマを決定するために、以下のキーワードが挙げられた。

#### **【出されたキーワード】**

- ・仲間づくり
- ・絆づくり
- ・地域づくり
- ・活動
- ・健康寿命

#### **【現状で出されたテーマ（案）】**

- ・活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり

#### **【委員間で共有が進んだ認識】**

- ・市民活動やボランティアといった名称については議論の余地があるが、活動を通じて仲間ができ、絆が生まれ、地域が活性化する。そして、そのような活動によって健康寿命が実現される。

## **2. その他**

- ・各委員は次回までにテーマや手法、具体的な取組についてイメージしてこよう。
- ・次回はテーマを決定した上で、テーマを具体化するための取組内容や検討方法について審議を進めることとする。

以 上